




平成 24 年度一般社団法人関東ニュービジネス協議会
委員会・研究部会 事業計画

【企業経営部門】

委員会	企業革新委員会	
委員長	山家一繁 (㈱ワイ・エム・シーワン 代表取締役社長)	

1. 活動目的

経営環境変化を感じ、経営者の積極的な行動の結果が業績になる。
経営者の気づき・感性のアンテナの感度を上げる。

「Do it Anyway」

経営者同士の交流、先達による講演会等を通じ、経営現場に直結するような実践的な学び・気づきの場を提供する。また、規模の大小を問わず、一流の経営者としての品格を身につけ、社会貢献度が高く、魅力的な企業（エクセレントカンパニー）の創造に向かって、「Do it Anyway!」精神で積極的に取り組む経営者を共に目指す。

2. 活動内容

- ・組織の動かし方
- ・科学的経営の在り方
- ・経営の質の向上、マネジメント強化
- ・百年続いている日本企業から学ぶ
近江商人の「三方良し」
石門心学、二宮尊徳等のような「日本的経営」

上記の様なテーマを以下の形式にて行う。

①講演会形式 著名な経営者有識者の講演会を実施する。

②ゼミナール 委員同士がそれぞれの得意分野について、講師を務め、教え学び合う。

時には、「①講演会」と連動し、講演会を「理論編」、「②ゼミナール」を「実践編」とした企画も行う。

*全体を通じて、参加者が積極的に発言し意見交換を活発に行える“場”とする。

- ・企業視察
これからの時代に可能性がある、普通では出会えないような気づきのある特殊なところを現地訪問する。

3. スケジュール（予定）

- ・講演会またはゼミナール（月1回）
- ・企業視察（年1回）

4. 運営組織（副委員長等）


副委員長

こもだ たかこ (㈱エス・エス・ジー 代表取締役社長)

森 啓一 (㈱フォーカスシステムズ 代表取締役社長)

藤間秋男 (TOMA コンサルタントグループ㈱ 代表取締役社長)

【企業経営部門】

委員会	企業内起業委員会	
委員長	大塚 雅樹 (株)JTB 法人東京 取締役マーケティング部長	

1. 活動目的

企業の生き残りをかけた、新たな成長エンジン創生の有力手段として、企業内の経営資源を生かした「企業内起業」の手法と成功事例を学ぶ。

2. 活動内容

企業内アントレプレナーを発掘育成してゆくスタンスとノウハウを学ぶ。
支援するインキュベーターに学ぶ。
経営の立場から、インキュベーションスタンスやノウハウを学ぶ。
イントレプレナーに学ぶ。

3. スケジュール（予定）

年2回程度開催予定


4. 運営組織（副委員長等）

副委員長 黒部 得善（株）リーガル・リテラシー 代表取締役）
副委員長 近藤 浩（LMN ホールディングス(株) 代表取締役社長兼 CEO）

企業内起業について
少しでも興味ある方
一緒に勉強してまいりましょう！
お待ちしております！

（委員長）

【事業創出部門】

委員会	ベンチャー創出委員会	
委員長	永瀬俊彦（事業創造キャピタル㈱ 代表取締役）	

1. 活動目的

起業に興味を持つ学生や若手社会人を対象に、起業することの意義や社会性そして会社経営の楽しさと厳しさといったものを、NBC会員経営者を中心に、直接聞きアドバイスを受けられる機会を提供し、社会へのチャレンジ精神の喚起を促すこと目的とする。

2. 活動内容

広く一般の学生や若手社会人そして若手経営者に向け、以下の取組を行う。

- ① NBC会員経営者による講演会や座談会といった形式をベースに、より多くの経営者による体験談や苦労話を聞く機会を定期的に提供するとともに、若手とNBC会員との情報交換や人脈の拡大を図れる場を提供する。
- ② 学生と起業経営者の交流会「寺子屋かいぎ」の実施。
毎年恒例の「寺子屋かいぎ」企画・運営する。また、一過性のイベントにせず、参加者が引き続きNBCとの関わりを持てるよう、リレーションの構築を図る。
- ③ 他起業家支援団体とのコラボレーション
NBCとは別に、他の起業家支援団体とのリレーションを深める。特にビジネスプランコンテスト等を企画運営する団体とのコラボレーションに関しては、積極的に取り組みたい。
- ④ NBC活動に関するPR
当委員会での活動内容を、多くのメディアに取り上げられるようPR活動にも注力したい。

3. スケジュール（予定）


- 4月 委員会キックオフ
- 5月 委員会内にて、今年度の企画内容の検討、講演会・座談会の講師選定
- 6月～ 定期的にイベントの開催
- 11月 学生と起業家の寺子屋かいぎ開催
- 3月 総括

4. 運営組織（副委員長等）

- 副委員長
- 勝 猛一（勝司法書士法人 代表社員）
 - 櫻澤 仁（文京学院大学 経営学部 教授）
 - 東野 徹（㈱メディカルプラットフォーム 代表取締役）
 - 星野 善宣（パートナーオブスターズ㈱ 代表取締役）

学生や、若手起業家に
ベンチャー企業の魅力や実態を伝え
たい人！
彼らとの交流で、自分も成長したい
というボランティア精神旺盛な方！
ご協力ください。

【事業創出部門】

委員会	教育・人材委員会	
委員長	山尾百合子 (株)メイン 代表取締役	

1. 活動目的

次代を担う若者（小・中・高・大学生）に「事業創造」の魅力や、必要性を示し、将来像の1つとして「起業家」を目指すきっかけを創ることを目的として公益的活動をする。

2. 活動内容

広く一般の学生に対し、下記の公益的活動を行う。

- ①小・中・高校への、NBC 会員の出張授業プログラムの構築・運営
自ら進んで学び、考えて行動をするアントレプレナーシップのある人材を育成するため NBC 会員（経営者）の出張授業プログラムを構築し、理事をはじめとする NBC 会員の協力の下、小・中・高校での出張授業を行う。
- ②既存の連携大学や、個別の大学からの要請に可能な限り応え、インターンシップの受入れや大学での出張授業の NBC の窓口を担う。
- ③経済産業省起業家人材育成事業「大学・大学院起業家教育推進ネットワーク」外部講師派遣、インターンシップ受入企業紹介の NBC の窓口を担う。

3. スケジュール（予定）

4月 委員会キックオフ

5月～7月 有識者の意見を参考に、小・中・高校への出張プログラムの内容を策定する。

9月 学校関係者への告知

11月～3月 NBC 会員の学校への出張授業を行う。

※個別大学からの外部講師派遣、インターンシップ受入企業紹介等の要請については随時応えていく。


4. 運営組織（副委員長等）

副委員長

- 市川 博子（株）日本ネットシステム 代表取締役社長
- 今井 勉（株）アインザ 代表取締役
- 岡本 貴士（有）アースライト 代表取締役
- 奥寺 邦俊（オーエフピー）有 代表取締役
- 櫻澤 仁（文京学院大学 教授）

小・中・高校への出張授業にチャレンジして下さる、ボランティア精神旺盛な方大歓迎！

【国際部門】

委員会	国際交流委員会	
委員長	深沢栄治（㈱光彩工芸 代表取締役）	

1. 活動目的

- 「志を共有するグローバルな企業人ネットワークづくり」・・・「アジアNBC構想」
- 「中小企業の進出支援制度づくり」

2. 活動内容

- 国際化をテーマとし関東NBCと各地域NBCとのネットワーク形成（合同視察企画）
- 和僑会はじめアジア各地の日本人団体とのネットワーク形成（現地交流実施）
- 既存の進出支援制度を、関東NBC内に導入し、会員に向けて告知していく。
- 主催海外ツアー2回 インドシナ方面（予定 7月）、シンガポール方面（予定 11月）予定
- グローバル人材委員会と「グローバル人材フォーラム」を共催実施予定（予定 9月）
- ツアーやイベントに向けての学習会 3～4回程度実施予定
- 報告会実施予定
- 各地域NBCの国際担当を通じて、すべての学習会を各地域NBCに告知、参加自由の「オープン化」によって、国内の国際ネットワークを深める。

3. スケジュール（予定）

- ・5月 視察訪問国大使館との共催セミナーにて、勉強会実施
- ・7月 JNB主催・関東NBC共催にて、インドシナ方面視察ツアー実施
- ・9月 グローバル人材フォーラム開催
- ・11月 関東NBC主催・JNB共催にて、シンガポール（和僑会全世界大会）へのコミュニケーション視察ツアー実施


自社の活動を海外にも拡げていきたい！という方

グローバルな人脈ネットワーク、海外進出への道筋を一緒に創り上げて行きましょう！

4. 運営組織（副委員長等）

- 副委員長 堀添 英人（財団法人 ユースワーカー能力開発協会 常務理事）
林すた〜らいと（東明総研㈱ 取締役 副学院長）
常井 孝之（㈱トップスポット 代表取締役）
高橋ゆき（㈱ベアーズ 専務取締役 国際部門内で相互に）

【国際部門】

委員会	グローバル人財委員会	
委員長	高橋 ゆき (㈱ベアーズ 専務取締役)	

1. 活動目的

「リボーン グローバル (Reborn Global)」を合言葉とし、企業・経営者・人材のすべてが、グローバルに生まれ変わることを、ミッションとする

2. 活動内容

- ・海外進出のための人材育成を探求する
- ・進出人材の受け入れ体制の研究
- ・日本人の海外進出の支援策の研究
- ・海外現地での組織づくり (各団体との連携及び、事例研究)
- ・海外人材受け入れ推薦制度 →看板制度化
- ・イベント“グローバル人材フォーラム”
「国内・国外の起業家・中小企業家と国内・国外学生、海外進出希望の人材の交流・学習会」

3. スケジュール (予定)

※初年度活動ペース 国際交流委員会と共催の他、学習会開催 年3~4回、イベント1回

- ・5月 視察訪問国大使館との共催セミナーにて、勉強会実施 (国際交流委員会共催)
- ・7月 JNB主催・関東NBC共催にて、インドシナ方面視察ツアー実施
- ・9月 グローバル人財フォーラム開催 (グローバル人財委員会主催)
- ・11月 関東NCB主催・JNB共催にて、シンガポール (和僑会全世界大会) へのコミュニケーション視察ツアー実施 (国際交流委員会共催)


**自社の活動を海外にも拡げていきたい！
という方**

**グローバル人財の育成や、現地での組織
づくり、マネジメントなど、事例を共有して、
一緒に学ぶ機会を創りましょう！**

4. 運営組織 (副委員長等)

- 副委員長 金子 篤史 (㈱エックスグラビティ 代表取締役社長)
- 副委員長 辰野 元信 (上海辰野貿易有限公司 取締役)
- 副委員長 深沢 栄治 (㈱光彩工藝 代表取締役社長 国際部門内相互担当)

【総務部門】

委員会	会員交流委員会	
委員長	坂田 生子（松下運輸㈱ 代表取締役社長）	

1. 活動目的

- ・会員が（誰でも）気軽に参加でき、情報交換、交流、親睦を図る為の場（東京都や他地域 NBC との交流も含む）をつくり、相互研鑽とヒューマンネットワーク構築を支援する。
- ・参加者が満足し、楽しく、かつ勉強になる「実質的」な合宿・イベントの企画運営を目指す。

2. 活動内容

- (1) NBC 合宿（1泊2日）の企画・運営。参加者自身が最高に楽しみ、そして、お互いの信頼関係を築くきっかけ、また、自己研鑽の場となるような内容を企画する。
- (2) 忙しい日常を離れ、自然を体感する中で、会員の相互交流を深耕する為の企画「ワイン用ぶどう収穫体験」を立案・実施する。
- (3) クリスマス会をはじめとしたイベントの企画・運営、会議室を飛び出しての交流会の企画・運営。
- (4) JNB 全国大会（第8回新事業創出全国フォーラム in 長野）における NBC 内のとりまとめ。
- (5) 東京都産業交流展出展に向けた企画・運営。
- (6) その他、対外交流イベント及びビジネスマッチングイベントの企画・運営。


3. スケジュール（予定）

- ・7月 NBC 合宿（7～8日）
- ・9月 ワイン用ぶどう収穫体験会
- ・10月 JNB 全国大会
- ・11月 東京都産業交流展（20～22日）
- ・12月 NBC クリスマスパーティ

4. 運営組織（副委員長等）

- 副委員長 高田 容冶（㈱ナバ 代表取締役）
- 副委員長 辰野 元信（上海辰野貿易有限公司 取締役）
- 副委員長 ぬでじま えいじ（㈲シーエスサービス 代表取締役）
- 副委員長 三ツ谷 佐代子（㈱ビーコムコーポレーション 代表取締役社長）

【総務部門】

委員会	定例会委員会	
委員長	星野 晃一郎 (㈱ DankoSoft 代表取締役社長)	

1. 活動目的

著名講師が語るテーマ内容を学びつつ、チャレンジする経営者、IPOを目指す企業家、また企業内新規事業担当者や経営支援企業等、参加者各位の出会いやビジネスチャンスの拡大など、有意義な会員交流の場を提供する。

2. 活動内容

定例会の企画、運営を行う。委員会では、開催に際し、講師の選定や講演内容について各部門もしくは委員会に依頼をする。定例会の司会や当日の運営は、委員会とNBC事務局で連携して実施する。また、新たな試みとして、当日来る事が出来ない会員でもユーストリームやLync（ビデオ会議）を用いて参加できる仕組みづくりを検討する。

「定例会」の内容は、凡そ以下の通り（状況に応じ組合せあり）

(1) 新入会員プレゼン

入会直後の新入会員を対象としたビジネスプレゼンを開催。既存会員との交流の場を提供する。
(事前指導のプレゼンテーションスキルアップ講座つき)

(2) セミナー（講演会） ※講演、対談、パネルディスカッション

NBC会員内外問わず、各界の著名人（経済界、政官界、学会等）また、会員ニーズにあった方を講師として、またはパネラーとしてお招きし、直々にお話を伺うことで、経営者として、刺激やヒントが体得できる学習の場を提供する。

(3) 他委員会、研究部会とのジョイント企画実施

他の各委員会とタイムリーに連携することにより、シナジー効果の高い企画内容を実施する。今年度は、特に外部との連携を深め、新規会員獲得の場としての試みをする。

(4) 懇親会

会員交流、親睦を目的とし、立食パーティーで開催。新入会員の紹介の場を設ける。

3. スケジュール（予定）

- 4月18日（水） 第1回定例会 講師：真田 哲弥氏（KLab㈱ 代表取締役社長 CEO）
- 5月23日（水） 第2回定例会 講師：マンマー大使館担当者もしくはカンボジア大使館担当者
- 7月20日（金） 第3回定例会 担当部門：事業創出部門
- 9月19日（水） 第4回定例会 担当部門：総務部門（テーマ：広報戦略）
- 11月14日（水） 第5回定例会 担当部門：企業経営部門


※別途：マイクロソフトオフィス見学会

4. 運営組織（副委員長等）

- 副委員長 今井 千晶 (㈱フタバファー スーパーバイザー)
副委員長 原田 知幸 (㈱ステレオサウンド 代表取締役)

以上

【総務部門】

委員会	広報委員会	
委員長	秋元 義彦 (株)パン・アキモト 代表取締役)	

1. 活動目的

関東ニュービジネス協議会のPR 認知拡大に努める。

NBC に対して好意的な注目度・関心度を高め、NBC の活動に常に期待をもって話題、ニュースとして取り上げてもらうようにしていく。

また、NBC 会員が広報活動について学ぶ機会を提供し、NBC 広報のみならず参加企業の広報活動の向上に貢献する事を目指す。

2. 活動内容

- ① 従来の活動の継承と見直しの為の検討会を開催
対内活動&対外活動
(各委員会の現状を把握し広報、事務局からの広報)
(NBCとして対外への情報発信策を研究)
NBCのPR部隊になるために・・・
(ブリテンの活用、その他 メンバー拡大のお手伝い活動)
(記者会見・・・)
- ② 新規企画
広報とは？の勉強会
メディアのプロから学ぶ(新聞社を訪ねる+記者から学ぶ)
- ③ 現場を知る
大手企業のメディア戦略を学ぶ(カルビーを希望)
よく取材対象になっている「あのパン屋」を訪ねる

3. スケジュール(予定)


広報活動の必要に応じ、随時招集。(年6回~10回開催)

4. 運営組織(副委員長等)

- 副委員長 山田 直大(株)東京アート印刷所 代表取締役)
副委員長 金子 篤史(株)エックスグラビティ 代表取締役社長)

メンバーは20名程度、本気で参加する気のある野次馬根性のある方募集!!

【特別委員会】

委員会	Connect!特別委員会	
委員長	剣持 忠 (株)メンバーズ 代表取締役)	

1. 活動目的

1996年以降に設立された企業(若い企業)は2001年から2006年までの5年間で121万の雇用を創出しているにも関わらず、規模の大小問わず1996年以前に設立された企業(古い企業)は2001年からの5年間で310万人の雇用を減らしています。つまり、経済発展、国内雇用の創出には新たなベンチャーの起業や大手企業の新規事業開発などのニュービジネスの創出が鍵となっています。また、米国ではVCが介在するベンチャー企業のエグジットのうち09年度にはIPOが12社に対して大企業や成功ベンチャーによるM&Aが271社と大企業や成功ベンチャー、ベンチャーキャピタリスト、ベンチャー企業によるニュービジネス創出のエコシステムが確立されていると言えますが、国内のM&A市場は米国のようなエコシステムがなく発展途上と言わざるを得ません。

Connect!特別委員会では、昨年に続き、「Connect!」を主宰し、大企業や成功ベンチャー、ベンチャー企業、ベンチャーキャピタリスト、起業家予備軍の交流を促進し、業務提携、資本提携、M&Aを含めたニュービジネス創出のエコシステムのうねりを起こし、国内経済の活性化、雇用創出に貢献していきます。

2. 活動内容

ベンチャーと大企業を結びつけるOpen Innovation Network「Connect!」の企画、運営
固有技術を持ち、スケラビリティの高く発展途上のベンチャー経営者、大企業や上場大手ベンチャーの事業開発担当者、ベンチャーキャピタリスト、起業準備中の学生等が一同に会する場(リアルな場とFacebook等の活用とを活用した場を設け、交流を促進する。

今年度は、特にリアルな交流の場の充実に注力する。

具体的には、小規模交流会を定期的開催し、具体的な事例作りにも取り組む。

3. スケジュール(予定)

①月例 Connect! 毎月 第二水曜 (年12回) 18:00-21:00 「148HIROO」にて

1部 大企業プレゼン(自社のイノベーションを加速化、促進するため、ベンチャーに向け、ロードマップを示すプレゼンを行う。)

2部 交流会

20~30名規模

②Connect!


年1回

300名規模

4. 運営組織(副委員長等)

副委員長 石川 秀人(株)チームファクトリー 代表取締役社長)

【特別委員会】

委員会	IPO 大賞特別委員会	
委員長	熊崎 友久 (アビックス㈱ 代表取締役社長)	

1. 活動目的

「IPO大賞」—「ルーキー部門」「グロース部門」それぞれの経営者・企業を顕彰し、IPOまで会社を成長させる事の素晴らしさ、達成感、そして、その後、社会的責任を負ってさらに業績を伸ばすことの難しさを伝えることで、NBCの本来の主旨である、「ベンチャー産業に多くの若者を呼び込むこと（次代を担う若手起業家を輩出すること）」「起業家を目指すきっかけを作ること」を目的とする。

2. 活動内容

(1) コンセプト

IPO大賞受賞者へ讃辞を送ることで、「IPOの素晴らしさ」「IPOの責任の重さ」の両面を理解し、それを「目指す」学生や、若手起業家を増やすことを目的とする。

そのため、表彰式は

- ①受賞者の講演（上場体験やノウハウの公開・共有）をメインとする。
- ②受賞パーティは、NBC会員を中心とした「上場企業の社長」と学生・若手起業家が直接、交流を図れる場とする。（寺子屋会議の上場企業社長版）。
- ③NBC会員の上場企業の社長にご協力頂き、低予算でありながら、参加した学生・若手起業家にとって「実」のある会とする。

(2) 表彰企業の選考

- ①ルーキー部門 — 11年10月～12年9月迄にIPOを実施した企業が対象
- ②グロース部門 — 07年10月～08年9月迄にIPOを実施した企業が対象
＜グロース部門の条件＞ ・直近決算時売上高100億円以上
・IPO実施時と直近決算時売上対比200%以上

*グロース部門で、選考対象が無い場合、特別賞として、「復活部門」的な企業の表彰を検討したい。

(3) 委員会

- ①「審査委員会」 — 外部有識者3名を加え、NBC会員の選出審査員が選考・選出する。
- ②「表彰式委員会」 — 受賞企業の表彰と、IPOに興味のある若者へのIPOまたは起業へのきっかけとしての「場」を創造していく。大賞企業の広報や、多くの上場企業の社長と直接会話が出来ることをPR材料に授賞式を広報し、「IPO」に対する世間の興味を盛り上げる。

3. スケジュール（予定）

(1) 審査委員会

- 7月頃、本年度の大賞内容を確認・検討する。
10月初旬 一次審査委員会を開催する。
11月～12月 二次審査・最終審査委員会を、適宜、開催する。最終審査会は、NBC会長、副会長も出席。12月初旬には最終決定、受賞社に連絡。

(2) 表彰式委員会

7月に、上記コンセプトを基に、本年度の企画内容を検討する。以降、3月の表彰式に向け随時委員会を開催し（月1回を目安）、企画内容を具体化する。1月～2月には、受賞企業をプレス発表し、表彰式への集客を行う。

第7回IPO大賞表彰式は平成25年 3月14日（水）開催（予定）

4. 運営組織（副委員長等）

- 委員会アドバイザー 倉橋 泰（㈱ぱど 代表取締役社長）
副委員長 今井 勉（㈱アインザ 代表取締役社長）
吉房 滋（㈱ゼウスエンタープライズ 代表取締役社長）

学生にベンチャーの素晴らしさを伝えてくれる人募集！！

【研究部会】

研究部会	ALL JAPAN NETWORK 研究部会	
部会長	今井 勉 (㈱アインザリード 代表取締役社長)	

1. 活動目的

- 日本国内の地域連携から生まれる新しいビジネスモデルの研究
- サテライトスタジオ&オフィスをプラットフォームとした地域連携の研究
- サテライトスタジオ&オフィスを活用した新しい働き方やビジネスモデルの研究。


2. 活動内容

- 徳島県で進んでいるサテライトオフィスプロジェクトをベースに地域連携の新たなビジネスモデルを探る勉強会を実施
- 東京と各地方をWeb会議システムで結び地域連携によるビジネスを探る意見交換を行う
- サテライトスタジオ&オフィスの新たな活用法を探る勉強会を実施
- サテライトスタジオ&オフィスの活用により生まれる新しい働き方やビジネスを研究する勉強会の実施
- 日本の地域の力を世界へ発信するためのモデルを研究するためのセミナーを実施
(JNBとの連携も検討)

3. 賛同者

(株)コスモピア	代表取締役	田子 みどり
明成建設工業(株)	代表取締役社長	西村 剛敏
(株)ダンクソフト	代表取締役社長	星野 晃一郎
(株)ビーコムコーポレーション	代表取締役社長	三ツ谷 佐代子
(株)メイン	代表取締役	山尾 百合子
(株)マザーズシステム・ジャパン	代表取締役社長	首藤 健次
(株)クオーターバック	代表取締役	中島 セイジ
(株)バアーズ	専務取締役	高橋 ゆき
アビックス(株)	代表取締役社長	熊崎 友久
(株)日本ネットシステム	代表取締役社長	市川 博子
(株)コミット	代表取締役	天間 晃彦
(株)ナップコーポレーション	代表取締役	永濱 健
(株)トップスポット	代表取締役	常井 孝之

【研究部会】

研究部会	人事経営 研究部会	
部会長	佐藤 純 (青山人事コンサルティング(株) 代表取締役)	

1. 活動目的

人事と経営に関するケースについて、ケースメソッド方式による参加者全員の討論を行い、人事や経営の問題の解決方法を議論し、ベンチャー企業の経営に役立てる。


2. 活動内容

- ①研究部会の進め方は、ケースに関して、ファシリテータと参加者が討論を繰り返しながら問題点を深堀するケースメソッド方式を採用する。
- ②人事のケースは、賃金、賞与、昇給、評価、残業代、メンタルヘルス等から選ぶ。
- ③経営のケースは、ドラッカー著「マネジメント」から選ぶ。
- ④ケース（事例）の資料は、部会長が準備し、事前に配布または閲覧できるようにする。
- ⑤参加者の事前準備は不用とする。
- ⑥参加者の対象を、会員と会員会社の取締役、執行役員、部長クラスまでとする。ただし、2回目または3回目以降から千円程度の参加費をもらう。
- ⑦参加率を高めるために、2ヶ月に1回程度の開催とする。


3. 賛同者

岡本硝子(株)	代表取締役社長	岡本 毅
(株)ワーステクノロジー	代表取締役	端山 浩幸
アテナイオス(株)	代表取締役	横井 浩之
(株)クイック・ビジョン	会長	青木 宏真
(株)バークレーヴァウチャーズ	営業部長	小谷 陽司


【研究部会】

研究部会	囲碁 研究部会	
部会長	米窪 正一（システムクリエイト(株) 代表取締役社長）	
1. 活動目的 囲碁をとうして会員どうしの友好を計る 囲碁をとうして大極感を身につけ企業運営に応用する 首藤プロの指導のもと成長を目指し切磋琢磨する		
2. 活動内容 月1回（2時間／回）のペースで首藤プロの指導のもと、初級者から上級者がそれぞれ成長できるカリキュラムを用意し、部会員相互の成長と親睦をはかる。 初級者は首藤プロによる囲碁の基礎講座を受講し、9路盤での実践をとうして19路盤での対局を目指す。 中級者は上級者との実践・首藤プロによる指導をとうしてより高段位の取得を目指す。 上級者は上級者同志の実践・首藤プロとの対局をとうしてレベルアップを目指す。 年度末の委員会では首藤プロによる段位認定、日本棋院発行の認定状が授与される。		
3. 賛同者		
(株)マザーズシステム・ジャパン	代表取締役社長	首藤 健次
(株)こめたび	代表取締役社長	首藤 郷
エース証券(株)	執行役員専務	徳原 信博
東京丸の内法律事務所	弁護士	高木 裕康
(株)バイキューブシー	取締役東京事業所長	奥田 信哉

【研究部会】

研究部会	知的財産 研究部会	
部会長	ぬでじま えいじ (有シーエスサービス代表取締役)	
1. 活動目的 <p>自社の独創的なアイデアを生かして戦略的にビジネスを拡大・安定化させる手段として、知的財産を権利化し特許・実用新案・商標・意匠などを取得することは、有効な選択肢の一つである。本部会では知的財産権に対する考え方や対策について国内外を問わず事例や問題点を研究し、弁理士の先生からアドバイスを頂きながら理解を深めることを目的とする。</p>		
2. 活動内容 <p>下記のテーマについてのノウハウの研究</p> <ul style="list-style-type: none">●発明の権利化、特許・実用新案・商標・意匠の合理的な取得方法●発明や開発の立案、他社権利への侵害回避、発明の特許性評価などの方法●広い範囲での権利取得のための文章化、出願手続きの方法●権利侵害に対する警告の方法および警告を受けたときの対応策●不正競争防止法、著作権、契約関係などに関わる知識 <p>以上について、定期的な勉強会の開催および会員に対する情報提供を行うとともに、会員の相談窓口として活動する。</p>		
3. 賛同者		
吉田国際特許事務所	所長	吉田 芳春
(株)ワイエムジーワン	代表取締役社長	山家 一繁
(株)チェンジフィールド	代表取締役社長	妹尾 八郎
事業創造キャピタル(株)	代表取締役	永瀬 俊彦
プルデンシャル生命保険(株)	ライフプランナー	牧田 泰 (個人会員)

【研究部会】

研究部会	人間力 研究部会	
部会長	奥寺 邦俊 (オーエフピー(有)代表取締役)	

1. 活動目的

①仕事に意欲のある経営者及び予備軍が集い時代の波を読みイノベーション能力を高める。
②NBC会員増強の為に、新規企業の体験参加者に強く呼びかけ、継続の力を持って、既・未会員枠を超え経営者としての人間力を確認する。
③会員間の積極的交流の場を提供し、明日の事業に役立たせる
《人間力研究部会》
人と人の中には、聴く・話す・見る・触れる・考える、行動する、それらの力がバランスよく必要であるが、それらの強弱も固有の癖も、個性もその全てが人間性を表すものである。


2. 活動内容

①部会は年6～8回 基本的にNBC会議室で実施する。
②部会員の今日の悩み・疑問・問題点及び成果等をテーマにして談議する。
③部会員が今日、見て感じる『時代の波を読む』をテーマにして談議する。
④部会員・体験参加者は、研究テーマを創り積極的に参加する。
⑤部会終了後には懇親会を設営し、部会で聞けなかったこと等を解消する。また部会員同士の親睦を深める。

3. 賛同者

平成24年度 実行メンバー
特別顧問：レイン・B・リター：高山 東明：吉田 邦正
副部会長：端山 浩幸：三ツ谷 佐代子：木村 晃子：木村 早苗
世話人：斉藤 栄太郎：田中 豊：若林 和子：倉持 恵子
記：実行メンバーは常に部会員・体験参加者が有意義な部会活動が出来るよう討議する。

【研究部会】

研究部会	文化・芸術のパワーに学ぶ 研究部会	
部会長	高橋 雅之 (㈱わらび座 関東・東海事務所 所長)	

1. 活動目的

NBC 会員に新しい心の風を！文化・芸術を様々な側面から研究し、その成り立ちとビジネスモデルを学ぶ機会を創出する。文化・芸術のパワーを感じとるだけでなく、会員同士の新たな心のふれあいの場を提供する。

2. 活動内容

①体験と、②学び・ディスカッションすることの2本の柱で、計4回の活動を予定。

【企画1「勉強会」】文化・芸術に精通する講師を招聘、勉強会とディスカッションを企画。

開催場所は企画内容により適宜変更する。計2回予定。企画内容は未定。

【企画2「体験」】映画、舞台、スポーツなど生の文化・芸術を実際に観賞したり体験する。

体験だけでなくその成り立ちを学ぶ機会も創出したい。計1回予定。企画内容は未定。


【企画3「旅」】地域の豊かな文化を肌で感じ、そこに生きる人々との交流を目指す旅企画を1回実施する。

※2012年5月11日～13日に、『新緑の秋田、豊かな地域文化と生き様に触れる旅』と題して、約20名規模の旅を実施予定。

3. 賛同者

(株)ワイズ・ナビ	代表取締役社長	佐藤 義孝
(株)マザーズシステム・ジャパン	代表取締役社長	首藤 健次
(株)コスモピア	代表取締役	田子 みどり
(株)エス・エス・ジー	代表取締役社長	こもだ たかこ
(株)パン・アキモト	代表取締役	秋元 義彦
(株)シーティーイー	代表取締役社長	藤田 陽司

【研究部会】

研究部会	若手経営者（40歳未満）が経営力を高め、 自社の業績を上げる 研究部会	
部会長	藤田 陽司（㈱シーティーイー 代表取締役）	

1. 活動目的

NBC 内で先輩経営者が後輩経営者に経営力を伝承する文化を創造する。
部員の会社の目的達成を妨げる問題を、ゲスト経営者・部員同士で解決する。
他の部員の成長を体感することで、部員に度胸をつけてもらう。
「NBCに入ると業績が上がる！」というわかりやすい実績を作り、新入会員の取り込み、外部の若手経営者の体験入会の受け皿となる。

2. 活動内容


4月 部員（A班）は ゲスト経営者 A と他の部員に対し、自社の業務内容と年間目標を発表する
5月 部員（B班）は ゲスト経営者 B と他の部員に対し、自社の業務内容と年間目標を発表する
6月・8月・10月・12月・2月
部員（A班）は、年間目標の進捗状況を報告する
ゲスト経営者 A・他の部員は、発表した部員に助言する
7月・9月・11月・1月・3月
部員（B班）は、年間目標の進捗状況を報告する
ゲスト経営者 B・他の部員は、発表した部員に助言する
※業種や会社の抱える問題点により4～5社を2班（A班・B班）に分ける
※ゲスト経営者を NBC 会員に依頼する
※対象年齢以上の参加希望者は、オブザーバー参加が可能
※指導希望者4名、ゲスト経営者1名が集まり次第、期の途中から新設班を設置する。

3. 賛同者

(株)インフィニ	代表取締役	加藤 美菜
(株)パートナーオブスターズ	代表取締役	星野 善宣
(株)エルテス	代表取締役	菅原 貴弘
(株)スペースインターナショナル	代表取締役	六川 牧志
上海辰野貿易有限公司	取締役	辰野 元信
(株)日本流通センター	代表取締役社長	田村 敏彦
(株)ラフズジャパン	代表取締役	松井 拓運
(株)N-style	代表取締役	仲野 考明
(有)アースライト	代表取締役	岡本 貴士
(株)インゲート	代表取締役	川嶋 梢
(株)エッセンス	取締役	米田 昌紀

（賛同者は 40 歳未満）

【研究部会】

研究部会	ソーシャルビジネス 研究部会	
部会長	田中 勇一 (リソウル㈱ 代表取締役)	

1. 活動目的

財政危機などによって公的セクターの手の行き届かない分野や民間企業がビジネスの対象とすることのない分野を主として、ビジネスの手法により事業の自立性を確保し、効果的・持続的に社会的課題の解決を図ることを目的とするソーシャルビジネスの勉強会を通じて、NBC会員各々の事業の発展に寄与する。

2. 活動内容

国内外を問わず、特異な手法で広く社会的価値を創出する活動を実践している民間企業や NPO 法人などの様々な組織形態の活動実態を把握しつつ、勉強会・講演会の開催および政策提言などを行いソーシャルベンチャーの活動を促進します。

1. ソーシャルビジネス型のニュービジネス事業展開の可能性検討等に関する勉強会開催
2. ソーシャルビジネスの先進事業主体の視察と情報交換
3. ソーシャルビジネスの事業主体に対する支援の可能性検討
4. 講演会・シンポジウム等の啓蒙活動の推進
5. 実態調査や共同研究に基づく政策提言、等

3. 賛同者

文京学院大学	経営学部教授	櫻澤 仁
(株)バアーズ	専務取締役	高橋 ゆき
明成建設工業(株)	代表取締役	西村 剛敏
(株)エックスグラビティ	代表取締役社長	金子 篤史
松下運輸(株)	代表取締役社長	坂田 生子
(株)クオーターバック	代表取締役	中島 セイジ